

# 兵庫県下の経済動向

平成23年10月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個人消費	4
設備投資	6
住宅投資	8
公共工事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信用保証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、一部に弱さを残しつつも、持ち直している。生産は、サプライチェーン障害の影響が概ね解消する中で、全体として回復が続いている。輸出は、緩やかに増加している。また、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善基調に復している。この間、設備投資は増加計画にある。一方で、住宅投資は弱めの動きが続いている。公共投資は減少している。

こうした中、9月短観における管内企業の足もとの業況感は改善した。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が5か月連続で前年を下回った。乗用車販売は、普通乗用車が13か月ぶりに前年を上回ったものの、小型乗用車、軽自動車が増加したこと、全体では13か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売は引き続き好調であるものの、薄型テレビの販売が地上波アナログ放送停波に伴う更新需要の一巡に伴い大幅に減少していることから、全体としても減少している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度の減少から2011年度は増加する計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家、分譲とも増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、国、神戸市などが増加したものの、兵庫県などが減少したことから、10か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出が米国向けが減少したものの、EU、アジア向けが増加し、2か月ぶりに前年を上回った。また、輸入については10か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、電子部品・デバイス工業、金属製品工業などの低下により3か月連続で低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、常用労働者数は前年を上回ったものの、所定外労働時間、一人当たり名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月を上回り、前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

7月の兵庫DIは、先行指数57.1%、一致指数77.8%、遅行指数62.5%となった。

7月の兵庫CIは、先行指数91.4、一致指数96.5、遅行指数104.7となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月ぶり、一致指数が4か月連続、遅行指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が3か月ぶりに前月差減、一致指数および遅行指数が2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は「改善のスピードは鈍化している」としている。

\* 兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理統括課

## 【生 産】

8月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は97.8、前月比1.8%低下。出荷指数は96.1、同2.5%低下。在庫指数は122.3、同1.7%上昇。在庫率は129.2、同5.8%低下。生産指数は3か月連続、出荷指数は2か月連続で低下、在庫指数は15か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が3.3%増で21か月連続で上昇、出荷は3.3%増で2か月ぶりに上昇した。また在庫は17.5%増で14か月連続で上昇した。

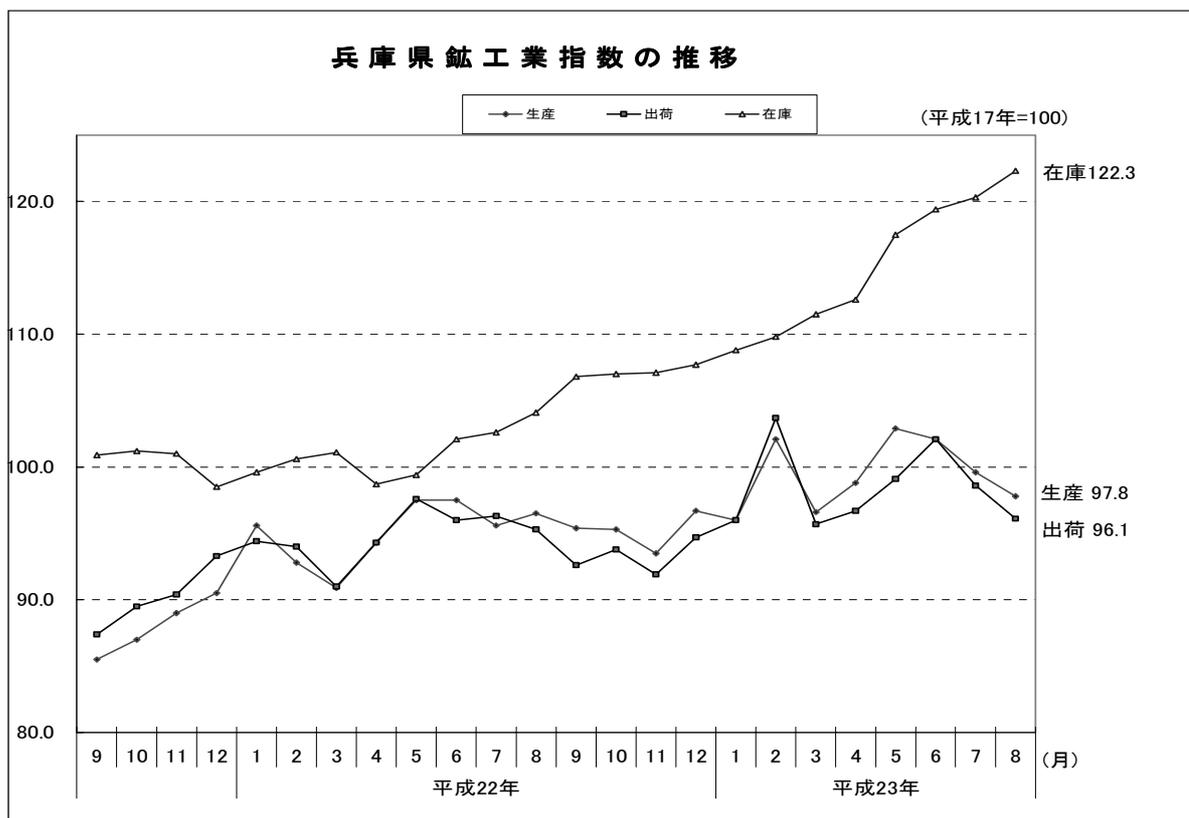
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、医薬品等の「化学」が12.5%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼」が3.8%、各々上昇したものの、編組機械等の「一般機械」が9.2%、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が8.6%、石油温水給湯暖房機等の「金属製品」が8.3%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が5.6%、パン類等の「食料品」が5.0%、カーナビゲーション等の「情報通信機械」が3.2%、鋼船等の「輸送機械」が1.4%、各々低下した。

県統計課は、「県内の生産活動は、横ばいで推移しているものの、一部に弱い動きも見られる」としている。

8月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	97.8	1.8	94.0	3.3
出 荷	96.1	2.5	94.7	3.3
在 庫	122.3	1.7	122.2	17.5
在 庫 率	129.2	5.8	134.3	6.5

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



## 8月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	93.0	3.8	上昇	普通鋼鋼帯、H型鋼、鋼半製品、粗鋼
			低下	中形棒鋼、普通鋼線材、普通鋼鋼管、鋳鋼品
金属製品	78.7	8.3	上昇	粉末や金製機械材料、PC鋼より線、超硬チップ、スチー・ステンレスドア
			低下	石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器、ガス風呂がま、ガス温風暖房機
一般機械	108.1	9.2	上昇	建設用クレーン、トンネル掘進機、水管ボイラ、油圧ユニット
			低下	編組機械、蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、熱交換機
電気機械	126.5	5.6	上昇	太陽電池モジュール、クッキングヒーター、工業用計測制御機器、一般用エンジン発電機
			低下	一般用タービン発電機、開閉制御装置、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、HIDランプ
情報通信機械	108.3	3.2	上昇	カーナビゲーション、テレメータ・テレコントロール、無線位置測定装置、固定通信装置、
			低下	陸上移動通信装置(携帯電話以外)、搬送装置、レーダ装置、カーオーディオ
電子部品デバイス	107.3	8.6	上昇	電界効果型トランジスタ、シリコントランジスタ(1W未満)、線形半導体集積回路、シリコントランジスタ(1W以上)
			低下	PDPモジュール、レーザダイオード、スイッチング電源、モス型半導体集積回路
輸送機械	71.9	1.4	上昇	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、シャシー・車体部品、二輪自動車部品
			低下	鋼船、旅客車、機関部品、駆動伝道・操縦装置部品
化 学	102.8	12.5	上昇	医薬品、石油化学品製造用触媒、塩化ビニル(モノマー)、塩化ビニル樹脂
			低下	化粧品、自動車廃棄ガス浄化用触媒、ポリスチレン、複合肥料(化成肥料)
食 料 品	97.8	5.0	上昇	しょうゆ、塩、肉製品、小麦粉
			低下	パン類、めん類、即席めん、清酒

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた9月の県内百貨店売上高は、前年同月比5.7%減の149億63百万円となり、5か月連続で前年を下回った。台風12、15号の接近がともに週末に重なったことに加え、残暑も中旬まで続いたことから、秋物衣料を中心に振るわなかった。

神戸地区では、食品や衣料などが軒並み減少。9月中旬からは、気温低下で秋物商材の一部が動き始めたが、各店とも「台風の影響が大きく、月前半のマイナスを穴埋めするまでの勢いはなかった」と口をそろえた。姫路・加古川地区では、催事や売り場のてこ入れなどで集客増を図る山陽百貨店で、婦人服や紳士服、子供服がいずれも前年を上回り、衣料品合計で前年同月比約11%プラス。全体でも前年実績を上回った。ヤマトヤシキでは、雑貨や総菜などがプラスだった。

9月の県内百貨店売上高

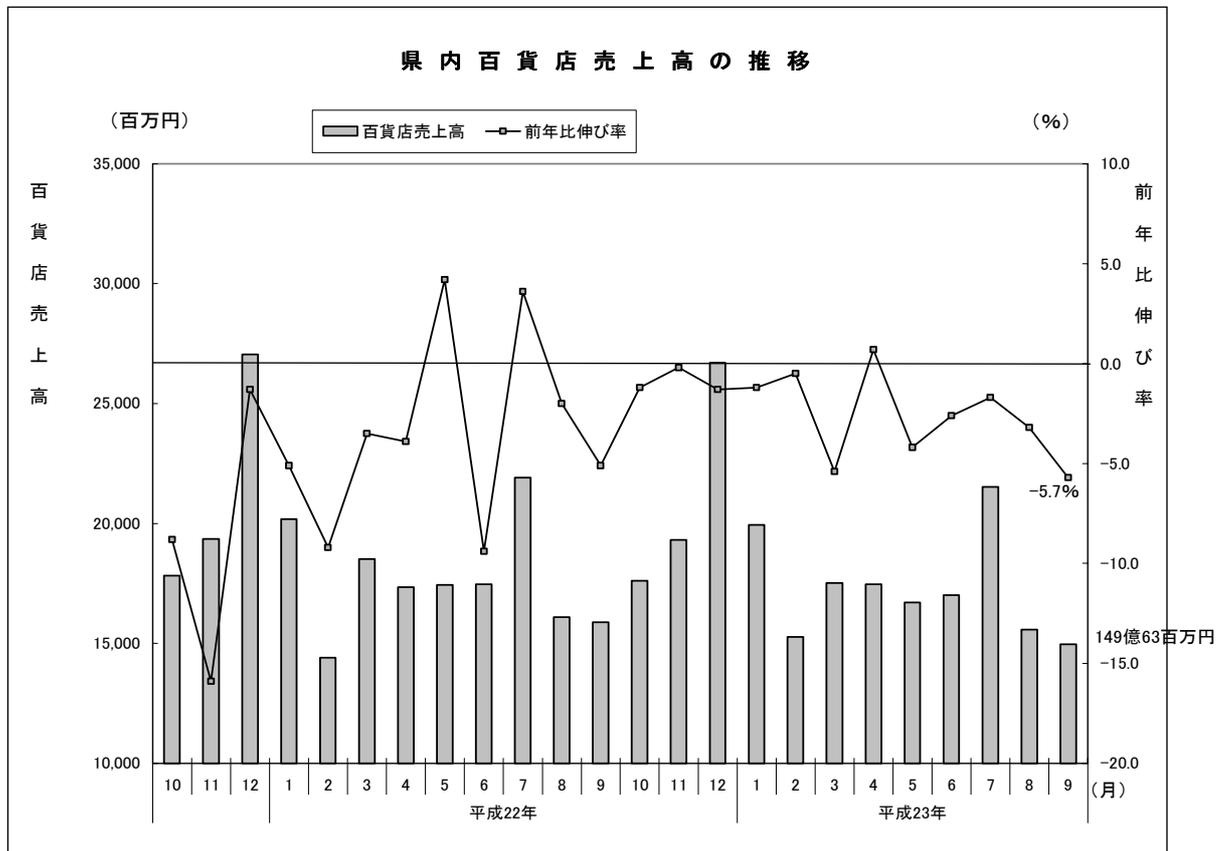
品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	533( 3.8)	153( 2.8)	687( 3.6)
婦人服・洋品	3,789( 5.7)	646( 0.3)	4,435( 4.9)
子供服・洋品	407( 7.5)	85( 8.0)	493( 5.1)
身の回り品	1,301( 9.5)	218( 13.9)	1,520( 10.1)
家庭用品	570( 7.2)	171( 13.6)	741( 3.1)
食料品	3,496( 2.2)	602( 6.4)	4,098( 2.9)
雑貨	1,676( 15.0)	381( 5.3)	2,057( 11.8)
その他	653( 4.8)	276( 2.3)	930( 4.1)
計	12,428( 6.6)	2,534( 1.5)	14,963( 5.7)

\* 単位百万円、未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

\* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。

\*



## 【個人消費】『新車登録』

県内9月の乗用車新車登録台数は15,901台、前年同月比2.7%減と13か月連続で前年同月の実績を下回ったが、エコカー補助金終了の影響が薄れ、減少率は大幅に縮小した。

9月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,993台(前年同月比0.5%増)、小型乗用車は5,376台(同8.5%減)、軽乗用車は4,532台(同0.7%増)、乗用車合計で15,901台(同2.7%減)となった。

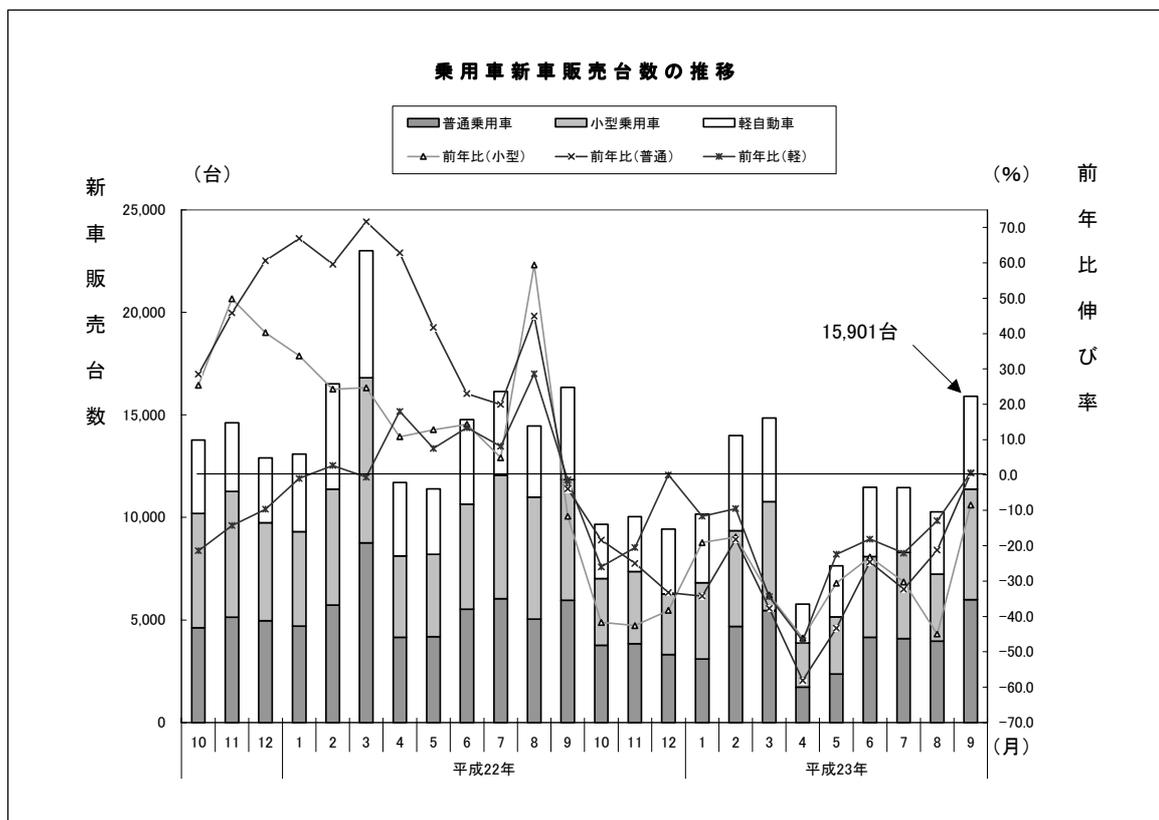
また貨物車等では、普通貨物車は265台(同4.7%増)、小型貨物車は616台(同2.5%減)、軽貨物車は1,432台(同5.2%減)、バスは20台(同16.7%減)となった。

### 9月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,993	0.5	138,327	1.6
小型乗用車	5,376	8.5	142,052	3.1
軽乗用車	4,532	0.7	111,671	8.7
<b>乗用車合計</b>	<b>15,901</b>	<b>2.7</b>	<b>392,050</b>	<b>2.1</b>
普通貨物車	265	4.7	12,248	20.0
小型貨物車	616	2.5	20,317	4.9
軽貨物車	1,432	5.2	36,730	10.2
<b>貨物車合計</b>	<b>2,313</b>	<b>3.4</b>	<b>69,295</b>	<b>1.7</b>
バス	20	16.7	846	5.5
<b>登録車総計</b>	<b>18,234</b>	<b>2.8</b>	<b>462,191</b>	<b>2.1</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が10月12日に発表した機械受注統計によると、平成23年8月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年7月前月比11.3%減の後、8月は同6.5%増の1兆9,834億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月前月比8.2%減の後、8月は同11.0%増の8,049億円となった。

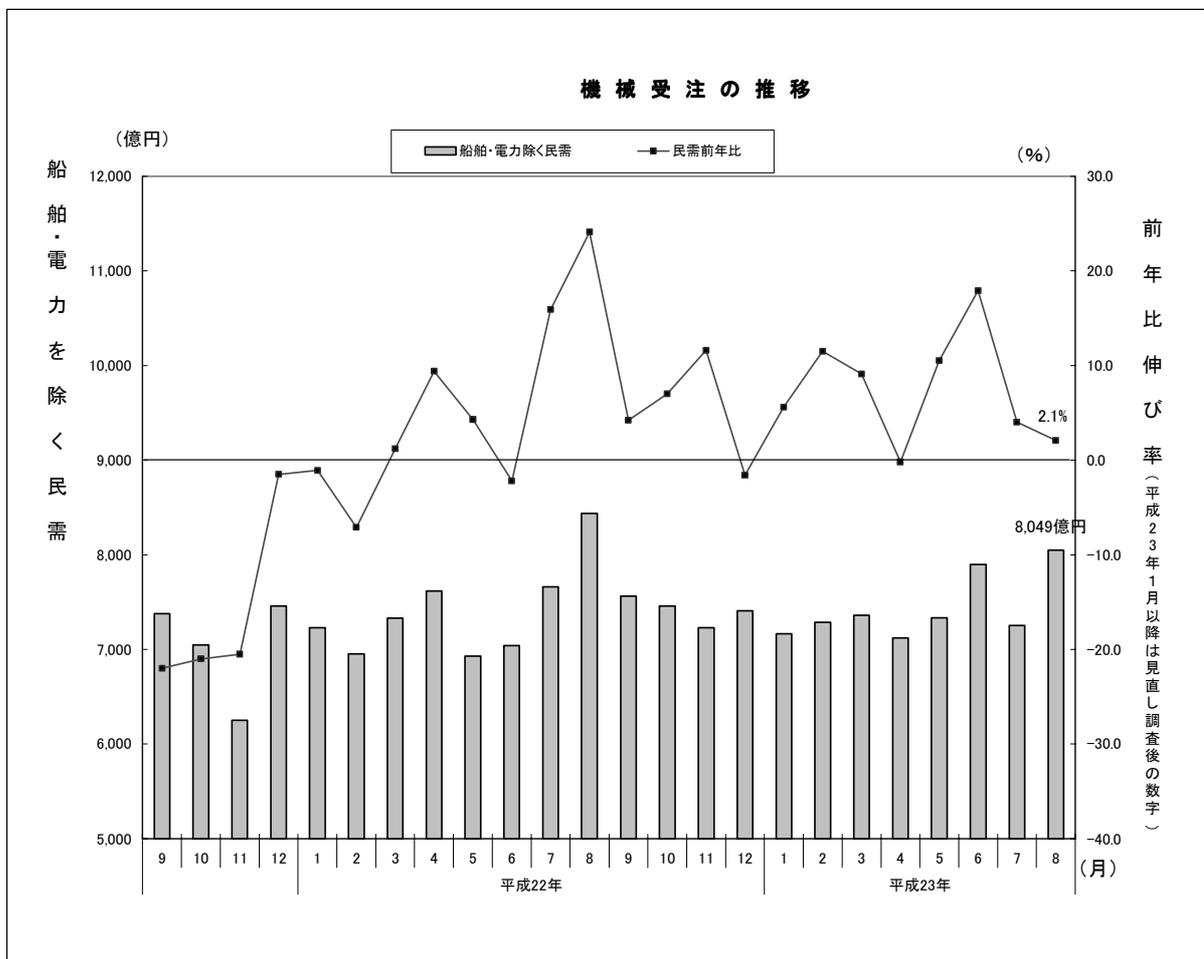
内訳をみると、製造業が同13.7%増の3,709億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同6.1%減の4,117億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、精密機械(297.5%増)、パルプ・紙・紙加工品(79.5%増)、情報通信機械(74.6%増)、非鉄金属(67.7%増)、石油製品・石炭製品(49.1%増)、電気機械(29.5%増)等の10業種で、その他輸送用機械(40.0%減)、造船業(26.8%減)、食品製造業(26.7%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(118.6%増)、金融業・保険業(35.8%増)、建設業(31.4%増)、卸売業・小売業(26.2%増)、通信業(10.5%増)等の8業種で、リース業(44.2%減)、情報サービス業(34.1%減)、運輸業・郵便業(33.9%減)等の4業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

\* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年9月 兵庫県  
設備投資計画：全産業前年度比+5.2%(製造業+11.0%、非製造業 10.9%)



機 械 受 注 統 計 ( 平 成 23 年 8 月 分 )

	22年 7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	23年 7~9月 見通し	23年 5月 実績	6月 実績	7月 実績	8月 実績
受注総額	59,380 ( 6.5) [ 25.5]	61,589 ( 3.7) [ 15.7]	67,789 ( 10.1) [ 18.8]	61,253 ( -9.6) [ 9.4]	60,716 ( -0.9) [ 1.8]	19,893 ( -2.3) [ 14.7]	21,005 ( 5.6) [ 10.4]	18,629 ( -11.3) [ -5.9]	19,834 ( 6.5) [ -3.3]
民 需	26,640 ( 9.5) [ 16.1]	26,554 ( -0.3) [ 13.6]	27,362 ( 3.0) [ 10.8]	27,926 ( 2.1) [ 15.4]	28,217 ( 1.0) [ 6.4]	8,873 ( 4.9) [ 20.1]	10,591 ( 19.4) [ 28.2]	8,912 ( -15.9) [ 2.5]	8,593 ( -3.6) [ -10.5]
〃 (Ex 船・電)	21,596 ( 5.6) [ 13.9]	20,660 ( -4.3) [ 5.6]	21,813 ( 5.6) [ 8.9]	22,351 ( 2.5) [ 9.8]	22,542 ( 0.9) [ 5.6]	7,334 ( 3.0) [ 10.5]	7,897 ( 7.7) [ 17.9]	7,252 ( -8.2) [ 4.0]	8,049 ( 11.0) [ 2.1]
製 造 業	9,477 ( 13.2) [ 34.4]	9,314 ( -1.7) [ 11.5]	9,807 ( 5.3) [ 16.3]	9,783 ( -0.2) [ 17.2]	9,721 ( -0.6) [ 5.4]	3,149 ( -1.4) [ 22.5]	3,440 ( 9.3) [ 21.1]	3,261 ( -5.2) [ 3.2]	3,709 ( 13.7) [ 5.0]
非製造業 (Ex 船・電)	12,221 ( 2.5) [ 2.3]	11,600 ( -5.1) [ 0.3]	11,761 ( 1.4) [ 3.5]	12,344 ( 5.0) [ 4.2]	12,756 ( 3.3) [ 5.3]	3,841 ( -5.4) [ 1.5]	4,445 ( 15.7) [ 15.4]	4,383 ( -1.4) [ 5.8]	4,117 ( -6.1) [ -0.1]
官 公 需	6,907 ( 3.0) [ -10.1]	6,715 ( -2.8) [ 2.6]	6,310 ( -6.0) [ -10.8]	6,365 ( 0.9) [ -6.9]	5,436 ( -14.6) [ -19.0]	2,217 ( 10.7) [ 11.3]	2,146 ( -3.2) [ -6.4]	2,110 ( -1.7) [ -7.3]	1,994 ( -5.5) [ -15.8]
外 需	25,221 ( 9.5) [ 54.1]	25,426 ( 0.8) [ 22.4]	28,817 ( 13.3) [ 43.1]	25,038 ( -13.1) [ 7.1]	23,832 ( -4.8) [ -0.6]	8,315 ( -6.6) [ 10.6]	7,823 ( -5.9) [ -3.2]	7,059 ( -9.8) [ -13.5]	9,339 ( 32.3) [ 10.0]
代 理 店	2,391 ( 0.6) [ 21.9]	2,328 ( -2.7) [ 8.9]	2,512 ( 7.9) [ 12.3]	2,588 ( 3.0) [ 7.8]	2,364 ( -8.6) [ -1.6]	803 ( -22.4) [ 8.6]	750 ( -6.6) [ -4.9]	739 ( -1.5) [ -5.0]	738 ( -0.2) [ -13.8]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内8月の新設住宅着工戸数は、総数で3,334戸(前年同月比7.3%増)となり、持家、貸家、分譲住宅とも増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では227戸の増加となった。

### 8月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,199	20.3	31,039	6.9
・分譲住宅	1,074	1.4	21,763	31.2
貸家系・貸家	1,055	2.4	28,372	9.8
・給与住宅	6	71.4	812	78.1
<b>総数</b>	<b>3,334</b>	<b>7.3</b>	<b>81,986</b>	<b>14.0</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

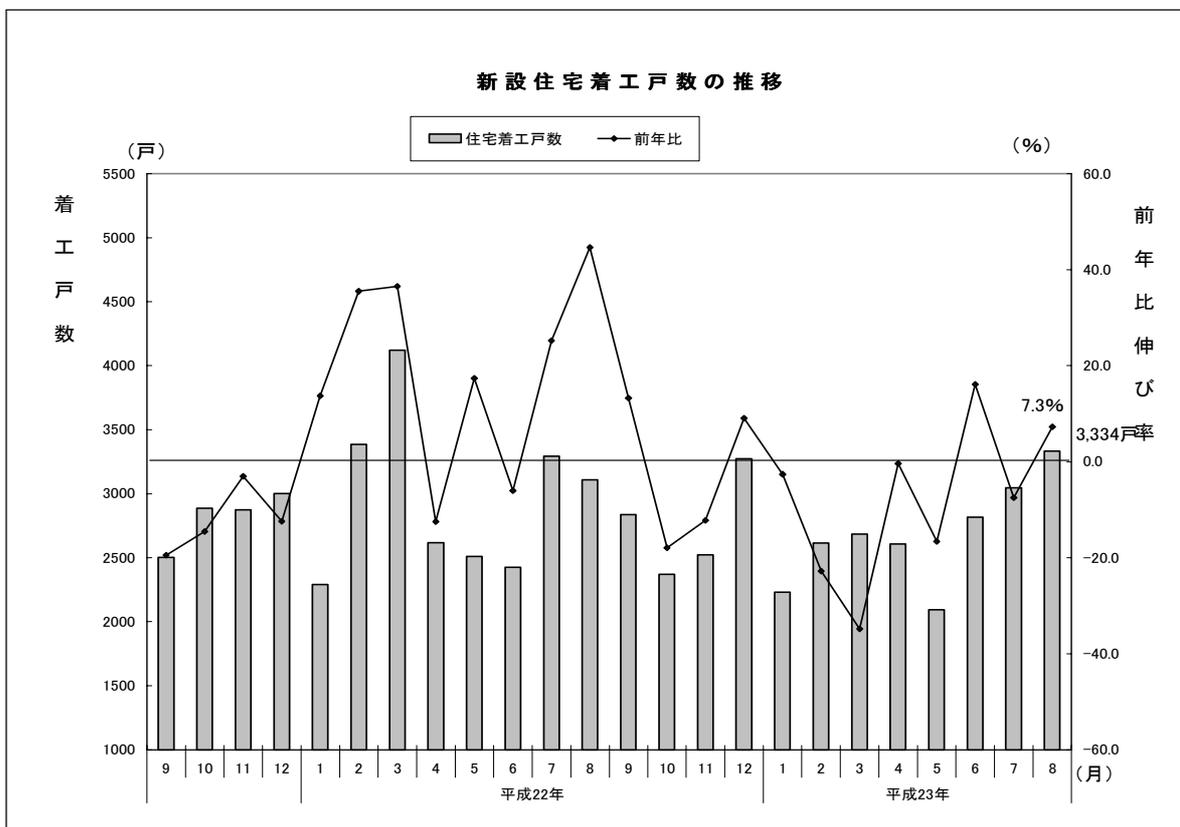
### 8月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	560	789	378	663	143	501	151	46	42	61	3,334
前月比	-318	180	28	195	32	165	21	-29	21	-7	288

資料：兵庫県住宅計画課

平成23年4月～8月の新設住宅着工累計は、総数で13,897戸、前年同期比58戸の減少となった。利用関係別では「持家」が4,866戸(前年同期比4.6%増)、「分譲住宅」が4,812戸(同25.6%増)、「貸家」が4,165戸(同16.1%減)、「給与住宅」が54戸(同78.4%減)となった。



## 【公共工事】

9月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は522件で前年同月比10.2%の減少、請負金額は266億61百万円で同15.0%の減少となり、金額ベースでは10か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」が前年同月比211.2%、「独立行政法人等」同17.5%、「国」同5.7%の増加となったものの、「その他の団体」同49.1%、「兵庫県」同40.8%、「神戸市を除く市町」同22.3%の減少となり、前年同月を下回った。

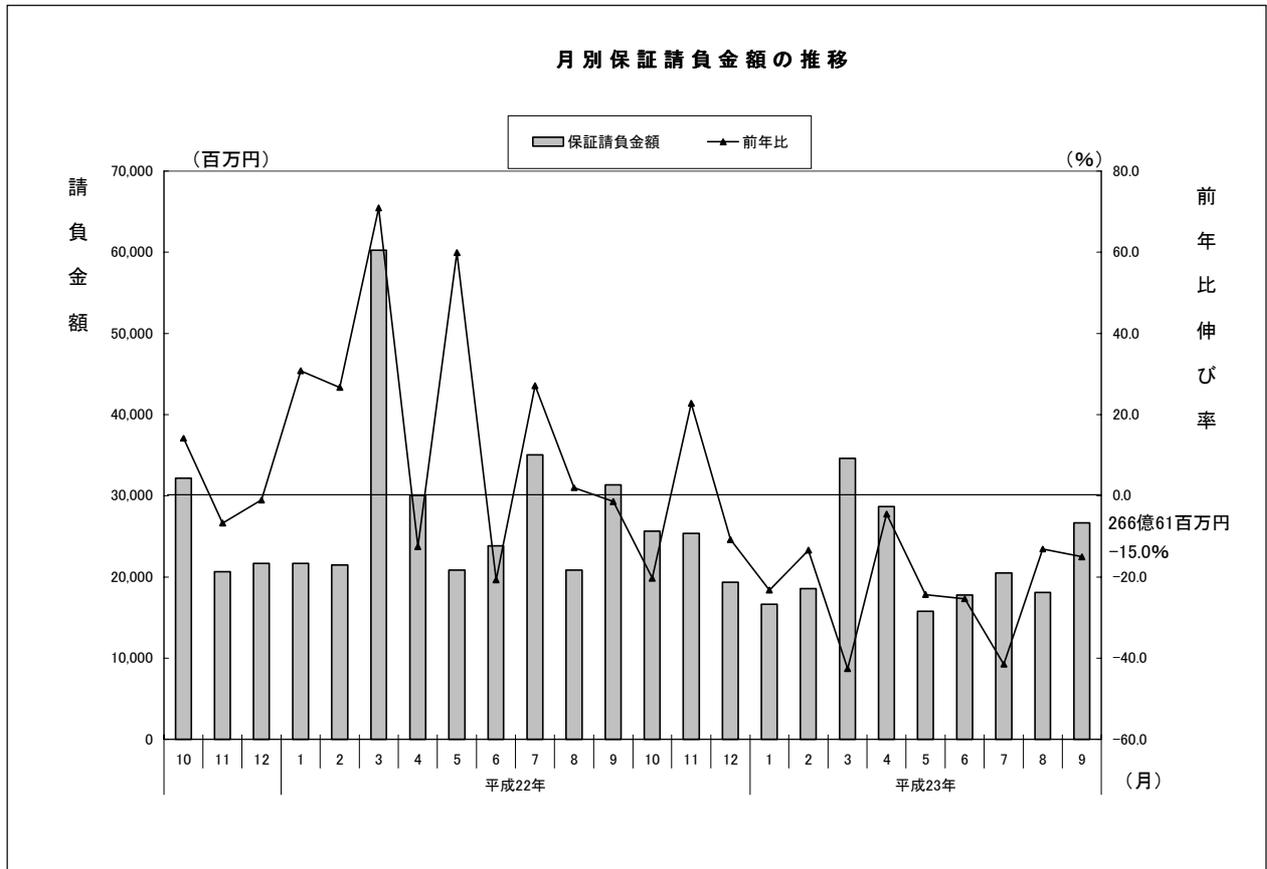
地域別(金額ベース)では、西播磨(前年同月比58.1%増)神戸市(同41.2%増)、但馬(同36.2%増)で増加となったが、中播磨(同75.4%減)、北播磨(同59.0%減)、淡路(同34.2%減)、丹波(同18.8%減)、阪神南(同17.3%減)、阪神北(同12.0%減)、東播磨(同8.0%減)では減少となった。

### 9月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	36( 5.9)	3,166( 5.7)	豊岡市上山地区護岸工事
独立行政法人等	12( 20.0)	649( 17.5)	
兵庫県	231( 4.9)	9,062( 40.8)	
神戸市	53( 12.8)	6,455( 211.2)	東部スラッジセンター汚泥焼却設備工事、消防救急デジタル無線システム設置工事
神戸市を除く市町	165( 24.0)	5,847( 22.3)	南あわじ市福良地区市営住宅新築工事
その他の団体	25( 0.0)	1,478( 49.1)	小野浜ポンプ場築造工事
合計	522( 10.2)	26,661( 15.0)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成23年8月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,661億円、前年同月比7.6%の増加で、総額ベースで20か月連続で増加となった。輸出は、音響・映像機器の部分品などが減少したものの、ポンプ及び遠心分離機、船舶などが増加し。一方、輸入は、たばこなどが減少したものの、衣類及び同付属品、有機化合物などが増加した。

輸出は4,244億円(前年同月比4.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

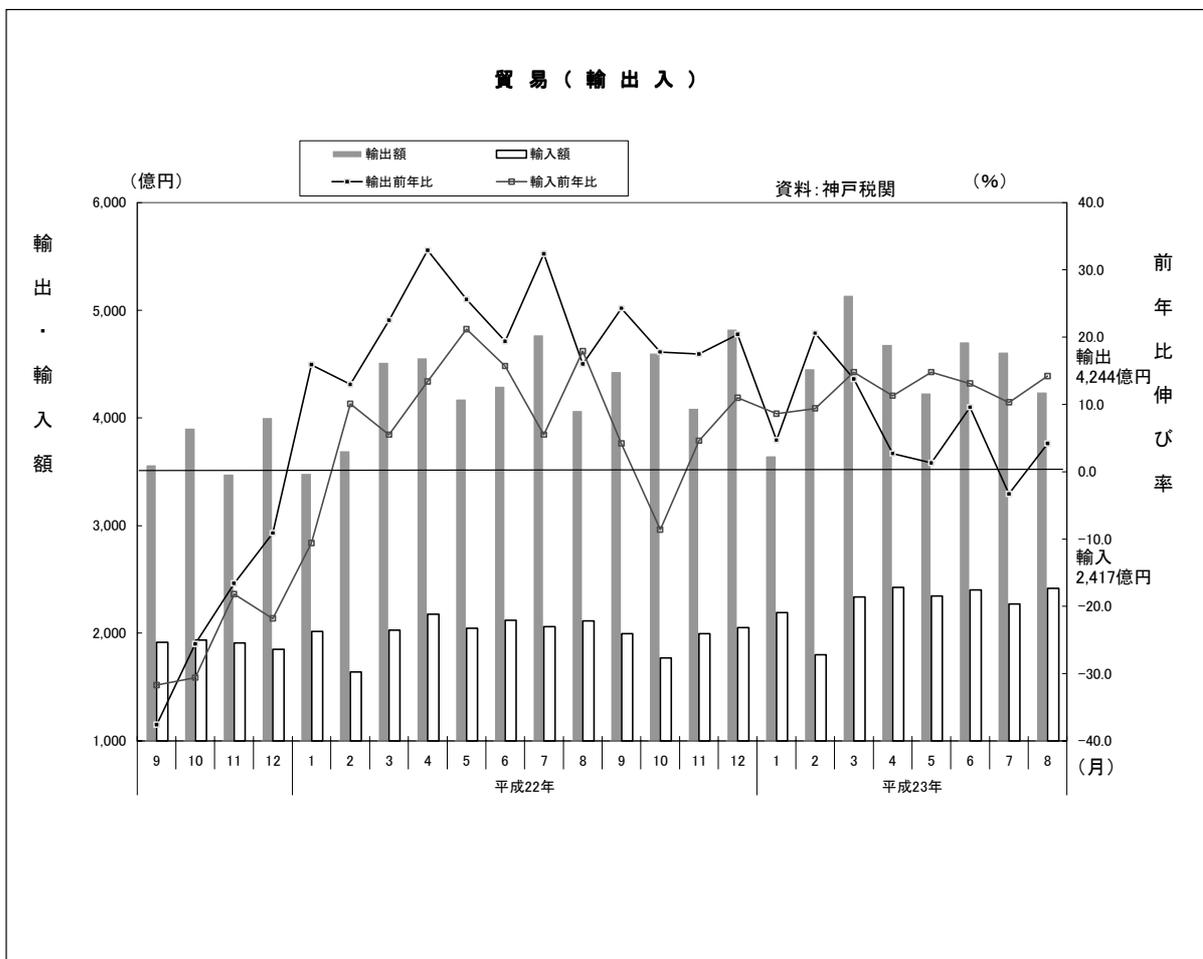
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比5.4%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、原動機(同7.7%減、2か月連続マイナス)、プラスチック(同7.0%減、2か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同1.4%減、20か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(同0.4%減、2か月連続マイナス)向けが減少し、アジア(同3.4%増、2か月ぶりにプラス)、中国(同7.8%増、2か月ぶりにプラス)、EU(同6.6%増、14か月連続プラス)向けが増加した。

輸入は2,417円(前年同月比14.2%増)と10か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同付属品(前年同月比81.7%増、2か月連続プラス)、有機化合物(同32.9%増、19か月連続プラス)が増加し、たばこ(同27.2%減、7か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同11.4%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(同1.6%減、5か月ぶりにマイナス)向けが減少し、アジア(同22.9%増、10か月連続プラス)、中国(同28.4%増、4か月連続プラス)、米国(同12.1%増、2か月ぶりにプラス)向けが増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

9月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.3(今月より平成22年=100に変更)となり、前月比は0.3%上昇し、前年同月比は0.1%の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.2%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.9となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.1%上昇した。

前月からの動きを見ると、交通などの値下がりにより「交通・通信」が1.3%、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が1.4%、保健医療用品・器具の値下がりにより「保健医療」が0.3%、それぞれ下落した。しかしながら、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が1.1%、衣料などの値上がりにより「被服及び履物」が6.5%、理美容用品などの値上がりにより「諸雑費」が0.9%、ガス代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.6%、室内装飾品などの値上がりにより「家具・家事用品」が0.7%、それぞれ上昇した結果、総合では0.3%の上昇となった。

### 9月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.3	99.8	101.5	103.4	96.5	102.7	98.9	98.8	100.1	98.0	103.5	100.2	99.9
前月比	0.3	1.1	0.0	0.6	0.7	6.5	-0.3	-1.3	0.0	-1.4	0.9	0.1	0.0
前年同月比	0.1	-1.2	1.4	2.4	-2.9	0.3	-0.8	-0.6	0.5	-1.2	4.5	0.2	0.1

(注)平成22年=100

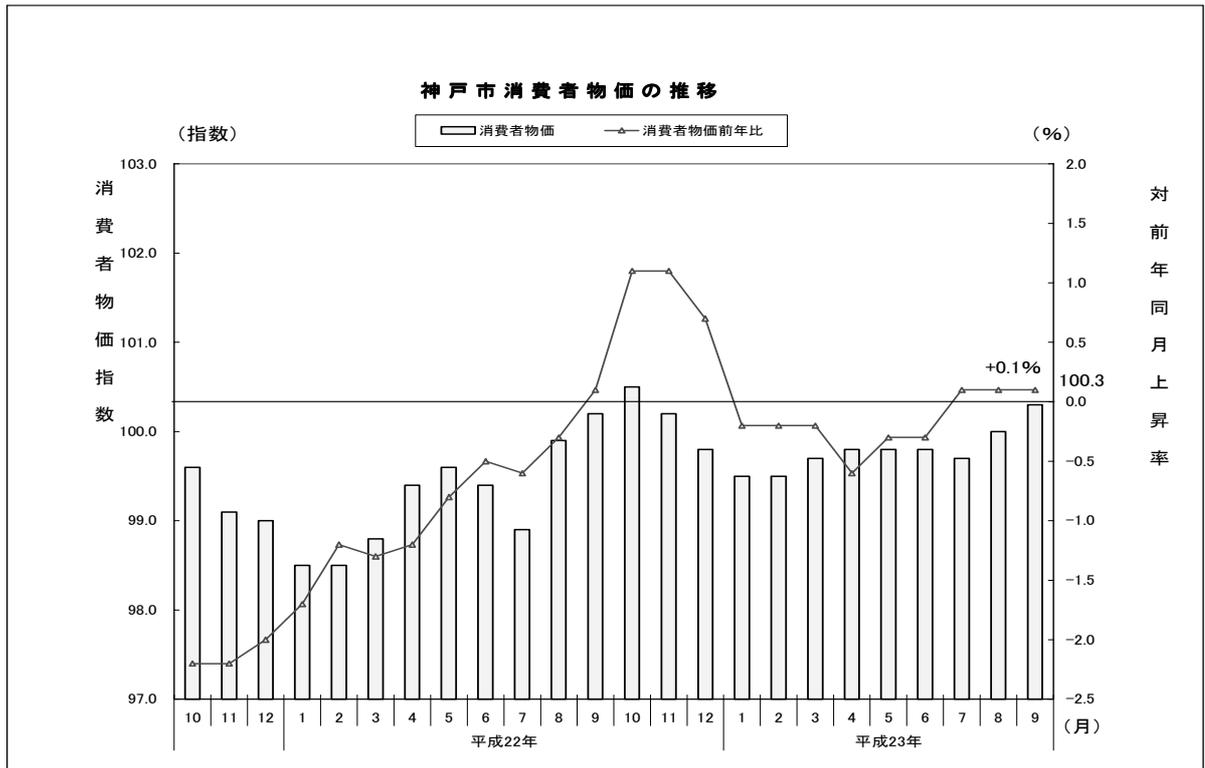
資料：兵庫県統計課

#### 対前月比値上がりした主な品目

- 野菜・海藻 (+ 9.6%)・・・レタス、トマト、きゅうり
- 衣料 (+ 11.2%)・・・男児ズボン、女児スカート、婦人スラックス(ジーンズ)

#### 対前月比値下がりした主な品目

- 交通 ( 4.1%)・・・航空運賃、JR料金(在来線、新幹線)
- 教養娯楽サービス ( 2.1%)・・・宿泊料、外国パック旅行



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が10月14日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年9月の実績は次のとおり。

### 9月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.4	0.1	2.5
輸 出 物 価	82.3	1.0	1.8
輸 入 物 価	115.1	1.7	10.9

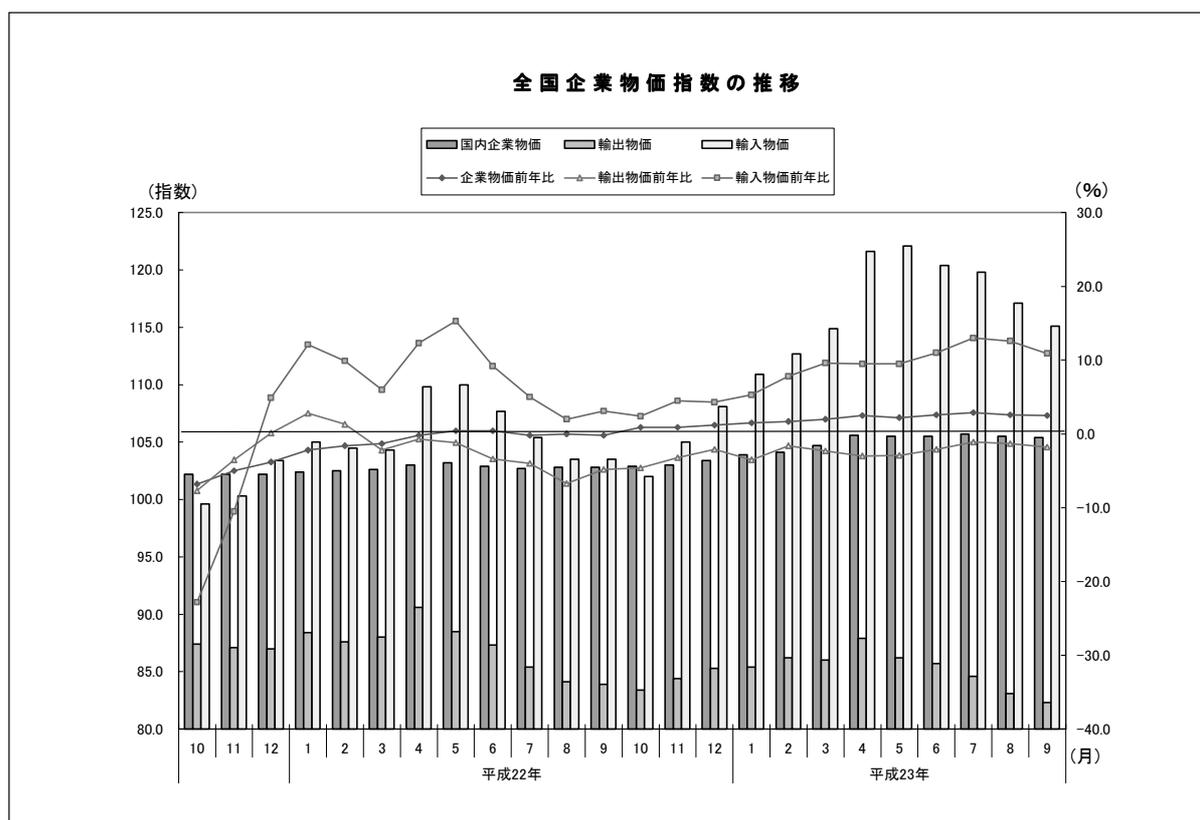
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比+1.2%＜特別高圧電力など＞）、加工食品（同+0.5%＜菓子パンなど＞）等が上昇したものの、非鉄金属（同-2.5%＜銅地金など＞）、石油・石炭製品（同-2.3%＜ガソリン、軽油など＞）、農林水産物（同-1.5%＜豚肉、牛肉など＞）、情報通信機器（同-0.8%＜携帯電話機など＞）等が低下し、全体では前月比0.1%の低下となった。

前年同月比では2.5%の上昇となった。前年比での上昇は12か月連続となったが、上昇幅は2か月連続で縮小した。世界景気の減速懸念を背景とした国際商品市況の下落が影響した。

輸出物価は、化学薬品（前月比-1.3%＜塩化ビニルモノマー、合成ゴムなど＞）、金属・同製品（同-1.2%＜銅地金など＞）等が低下し、円ベースでは前月比1.0%の低下(前年同月比-1.8%)となった。

輸入物価は、輸送用機器（前月比+1.2%＜普通乗用車など＞）が増加したものの、金属・同製品（同-2.7%＜銅鉱、ニッケル地金など＞）、木材・同製品(同-2.7%＜合板など＞)、石油・石炭・天然ガス（同-2.6%＜原油、ナフサなど＞）、食料品・飼料（同-1.6%＜小麦、とうもろこしなど＞）等が低下し、円ベースでは前月比1.7%の低下(前年同月比+10.9%)となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内8月の新規求人数(全数)は、23,892人(前年同月比9.6%増、前月比5.0%増)で、2か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は61,094人(前年同月比9.1%増、前月比6.1%増)で16か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比9.3%増で18か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同10.6%増で2か月ぶりに前年を上回った。また臨時・季節では同4.1%増で10か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比13.7%増)、情報通信業(同36.2%増)、運輸業、郵便業(同5.1%増)、卸売業、小売業(同9.2%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同24.8%増)、宿泊業、飲食サービス業(同2.3%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同7.6%増)、医療、福祉(同10.7%増)、サービス業(同13.4%増)は前年を上回ったが、建設業(同5.0%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

8月の新規求職申込件数(全数)は、24,096件(前年同月比3.2%増、前月比11.1%増)で、11か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は104,723人(前年同月比6.8%減、前月比1.8%減)で15か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比1.8%増で17か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同6.5%増で3か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比68.8%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は前年同月比50.8%増で27か月連続して、在職者は同3.9%増で7か月ぶりに前年を上回ったが、事業主都合離職者は同9.4%減で20か月連続して、自己都合離職者は同3.7%減で15か月連続して、自営・他は同10.1%減で3か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、29,864人(前年同月比7.5%減)で、18か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

8月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.94倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.60倍で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

8月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.3%で前月より0.4ポイント改善、完全失業者数(原数値)は276万人(前年同月差45万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.4%(前年同月より1.8ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は44万人(前年同月差19万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年8月	23,892	1,597	3,229	305	1,269	4,119	217	366	755	1,572	947	5,661	2,965
前年同月比	9.6	5.0	13.7	36.2	5.1	9.2	66.9	5.2	24.8	2.3	7.6	10.7	13.4

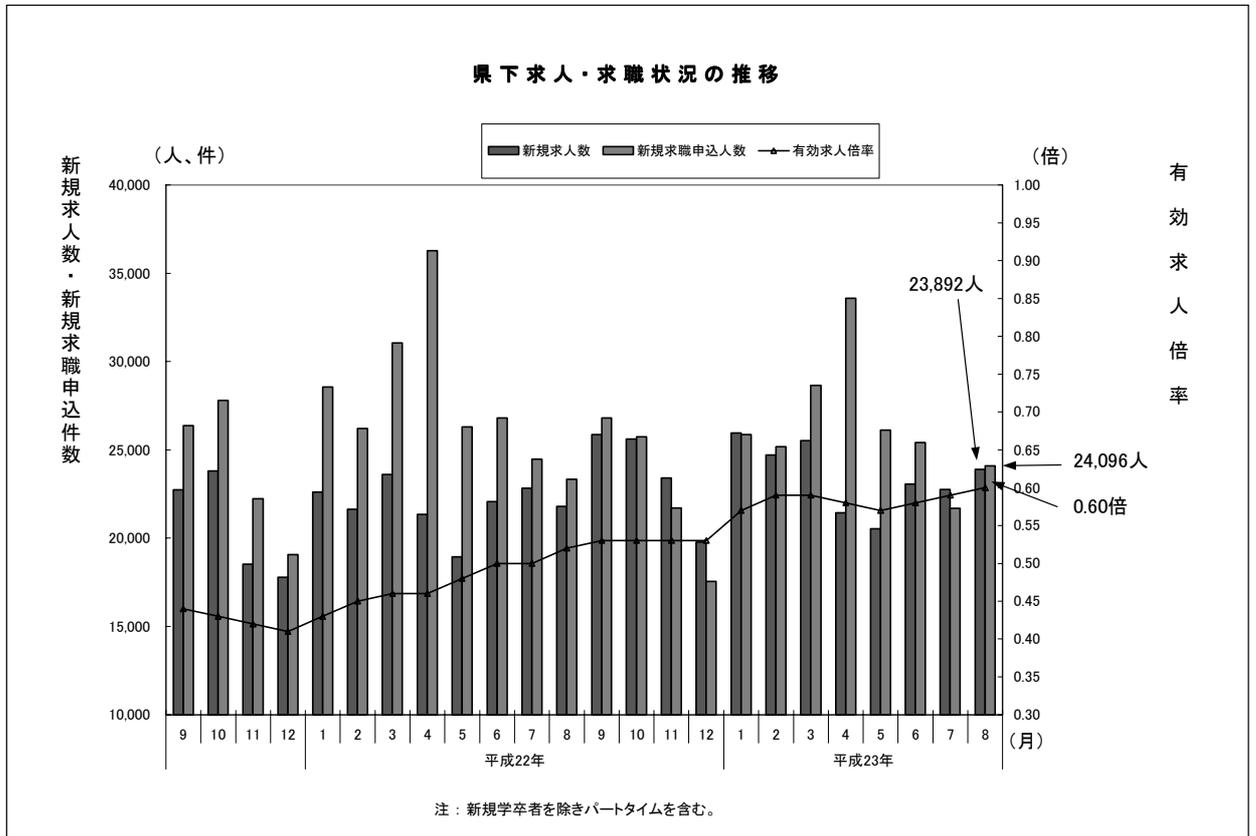
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/4-6	11/6	11/7	11/8
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.51	0.54	0.58	0.58	0.58	0.59	0.60
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	11.2	14.5	12.3	4.3	4.5	0.3	9.6
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	14.7	12.5	8.3	7.5	9.0	1.9	1.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.2	0.6	1.2	0.6	0.3	0.1	0.0
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	1.7	0.4	0.4	0.6	2.7	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



## 【信用保証】

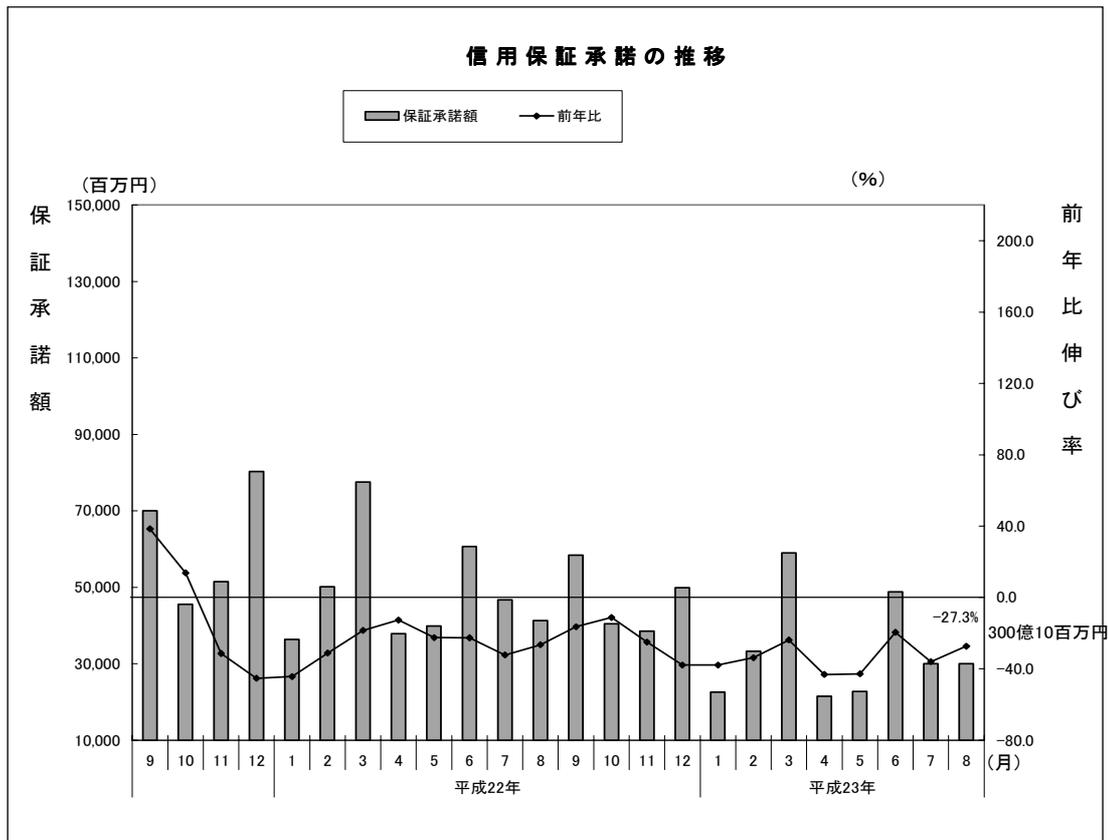
兵庫県信用保証協会による8月の保証承諾実績は、件数で1,983件(前年同月比20.7%減)、金額は300億10百万円(同27.3%減)となり、22か月連続で前年実績を下回った。

リーマンショックを受けた資金繰り支援の緊急保証制度で、承諾が増加したことによる反動減がなお続いており、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」6,554百万円(前年同月比18.0%減)、「サービス業」3,278百万円(同22.2%減)、「建設業」8,223百万円(同23.0%減)、「製造業」4,972百万円(同29.9%減)、「小売業」3,278百万円(同30.2%減)、「飲食店」663百万円(同30.7%減)、「不動産業」1,345百万円(同34.0%減)、「運送・倉庫業」1,112百万円(同60.5%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、332件(前年同月比22.1%増)、37億98百万円(同13.6%増)となった。

8月末の保証債務残高は、116,416件(前年同月比1.9%減)、1兆4,192億円(同3.2%減)となった。



## 【金融】

8月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	138,956	2.1	55,895	3.3
地方銀行	23,627	2.4	19,177	2.4
第二地方銀行	30,689	2.6	19,497	0.5
信用金庫	78,673	1.8	38,259	0.1
その他	16,686	4.1	16,837	2.0
計	288,631	2.2	149,665	0.7

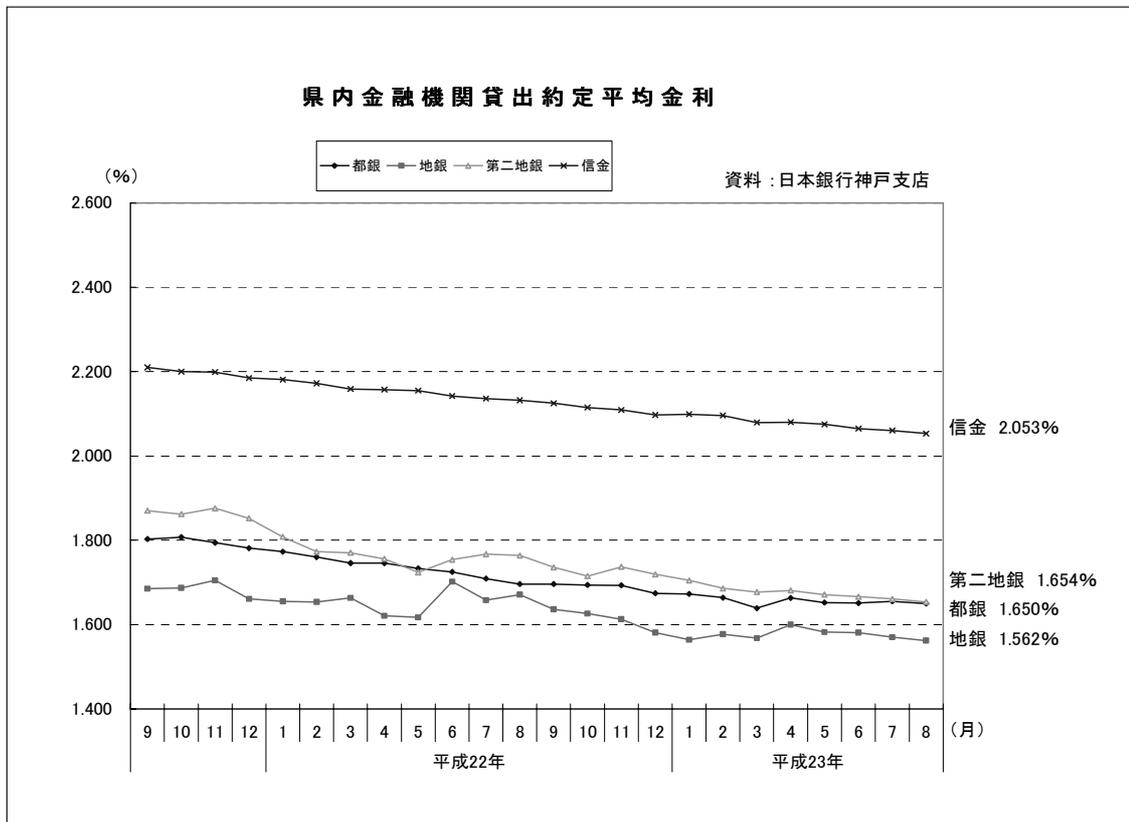
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

8月の預金は、前年を上回って推移している。

8月の貸出は、前年を下回って推移している。

8月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(8月末水準 1.781%、前月比 0.007%ポイント)。



## 【倒 産】

県内9月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は56件で前年同月比1.8%減少、負債総額は54億88百万円で同59.2%の減少となった。

倒産件数は直近3か月の増減幅が11件と振幅が大きく、負債総額は5か月連続で100億円を下回った。「個人企業」の倒産が24件と依然として高い割合を占めており、1件あたりの平均負債総額が1億円を下回るなど、当月も「小口倒産」が特徴的であった。

なお、当月は東日本大震災関連の間接的な原因による倒産が1件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が39件(全体の69.6%)と前月比5件の増加で当月もトップ。2番目は過小資本で7件、次いで放漫経営と不良債権発生が共に4件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は40件と前月比1件の減少となり、構成比は71.4%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が16件(全体の28.6%)と最も多く、2番目は建設業が14件、次いで食品業が10件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が24件でトップ、次いで「1千万円以上」が15件、「1百万円以上」が11件となった。

「産業別」では、「サービス・他業」が21件でトップ、次いで「建設業」が14件、「製造業」が8件となった。

倒産件数の累計比較において、今年1月～9月までの兵庫県下における累計件数は470件となり、前年の1月～9月累計531件と比較すると61件の大幅減少となっている。単純な倒産件数の比較では、一見、「落ち着いている感」が窺えはするものの、経済を足許で支えている小規模・零細企業の経営破綻が依然として多く、決して楽観視出来る現況ではない。

日本銀行神戸支店が10月3日に発表した「管内経済金融概況」では、「一部に弱さを残しつつも、持ち直している」と前回判断と同様としたが、歴史的な円高推移や全般的な原材料高など中小・零細企業を取り巻く外部環境には未だ厳しさが続いており、年末年始を迎える今後に関しても引き続き「小口倒産」多発の可能性が懸念される。

### 9月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	0	4	4	0	金属・機械・電気	9	6	3	9	0
過小資本	7	1	6	2	5	化学・薬品	0	1	-1	1	-1
連鎖倒産	4	2	2	0	4	ゴム・皮革・ケミカル	0	0	0	2	-2
赤字累積	1	4	-3	3	-2	食品	10	6	4	8	2
販売不振	39	34	5	46	-7	建設	14	19	-5	13	1
売掛金回収難	0	1	-1	0	0	不動産・サービス	16	7	9	13	3
その他	1	3	-2	2	-1	運輸・通信他	7	6	1	11	-4
合計	56	45	11	57	-1	合計	56	45	11	57	-1

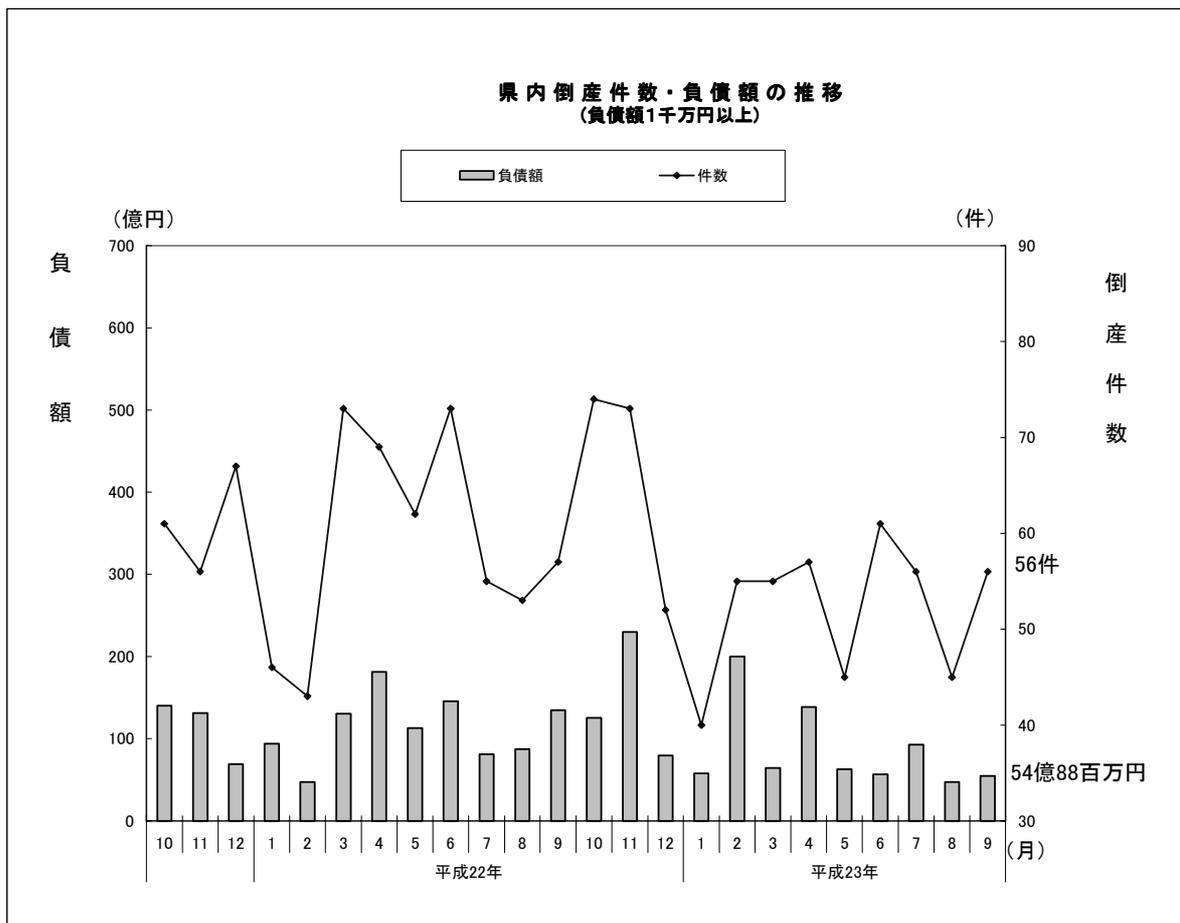
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1
23年 5月	45	14	17	3	7	1	1	2
23年 6月	61	13	23	8	12	2	1	2
23年 7月	56	18	16	8	9	2	1	2
23年 8月	45	15	9	7	10	0	2	2
23年 9月	56	17	22	4	10	2	0	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%	(億円)	%	%	(戸)	%	%	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
6月	102.1	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
7月	r 99.6	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
8月	p 97.8	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
9月					267	-15.0	3.3			
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫県支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	r 4,615	-3.3	p 2,275	10.4
8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	p 4,244	4.2	p 2,417	14.2
9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7					
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	100.1	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	100.0	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	100.3	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	100.4	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	100.3	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	100.1	0.0
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.5	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.9	-0.3	99.7	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.2	0.1	99.9	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.5	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.8	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	98.3	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	97.2	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	97.5	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	97.5	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	96.9	-0.8	100.0	0.1	99.9	0.2
9月							100.3	0.1		
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額			全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数	
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %	(年%)				(件)	(億円)
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	2.2	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	2.6	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	105.7	2.9	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	r 105.5	2.6	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	p 105.4	2.5				56	55	17	22	17
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値